

## 貴重図書《展観と講演》実施報告 『旅から生まれ た幻想小説 - 泉鏡花の場合 - 』

引用	学術情報センター年報 情報. 23, p.14-14
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/15626">http://hdl.handle.net/10466/15626</a>

## 貴重図書《展観と講演》実施報告 『旅から生まれた幻想小説－泉鏡花の場合－』

学術情報室 呉家 静

学術情報センター図書館では、大阪女子大学附属図書館が2005年度から開催していた事業を継承し、2007年度より展観と講演会を毎年開催している。2016年度は『旅から生まれた幻想小説－泉鏡花の場合－』というテーマで、同志社大学の田中励儀教授を講師に招き、講演会を開催した。（上方文化研究センターとの共催企画）

展観は、「近代文学と自筆原稿」というテーマで、当館所蔵の資料を展示した。

### ■講演

日時：12月4日（金）14時～15時30分

会場：学術情報センター図書館2階中会議室

講師：田中 励儀 氏（同志社大学 教授）

参加者：18名

大正は、日本で鉄道網が発達して観光旅行が盛んになった時代である。汽車旅を好んだ作家泉鏡花が、どんな旅に出掛け、どんな作品を残したか。鉄道小説・幻想小説が融合した『銀鼎』、『続・銀鼎』の成立過程を例に挙げ、自筆原稿や校正刷も紹介しながら、詳しい解説があった。

そのほか、登場人物のモデルとされる池田輝方・蕉園夫妻（両者とも、明治から大正にかけて活躍した日本画家）と鏡花の関係性などについても紹介があった。



### ■展観

期間：10月3日（月）～12月28日（水）

会場：学術情報センター図書館1階貴重図書展示コーナー

この講演に関する当館所蔵の近代文学作家の自筆原稿や初版本など、代表的なもの14点を貴重図書展示コーナーに展示した。

